

競技上の注意

1 競技規則

本大会は、2024年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則及び（公財）日本中学校体育連盟ハンドボール部競技運営に関する申し合わせによっておこなう。

2 競技方法

本大会はトーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。

3 競技時間

- （1）全ての試合で25分（前半）－10分（休憩）－25分（後半）とする。
- （2）延長戦は、正規の時間内で勝敗が決しない場合には、2回戦までの延長は第1延長のみ、準決勝以上は第2延長までとし、それでも決しない場合は5人制の7MTCをおこなう。
- （3）加算式の電光表示板を使用する。
- （4）競技終了・チームタイムアウトの合図は、ホーン（ブザー）で行う。
- （5）退場者は、退場者電光掲示板で表示する。トラブル等で退場者電光掲示板が使用できないときはオフィシャル席上に掲示し、入場はチームの責任によって行う。
- （6）試合終了後は、コート中央にて横一列で整列を行い挨拶のみとし、お互いの健闘をたたえるハイタッチを行う。

4 大会使用球

使用球は（公財）日本ハンドボール協会検定球（モルテンd60、ミカサHB40Bシリーズ）を使用する。

	8月3日（土）	8月4日（日）	8月5日（月）
男子	ミカサ	モルテン	ミカサ
女子	モルテン	ミカサ	モルテン

5 松ヤニ・松ヤニスプレーの使用禁止

松ヤニ及び松ヤニスプレーは使用不可とする。違反した場合は、完全に除去されたことが確認できるまで競技に参加できない。また、両面テープは使用可とする。但し今回の新規格ボールは、【Handballs played without resin】の仕様のため素手でプレーすることを推奨する。

6 服装について

- （1）（ゴールキーパーを除いて）長ズボンを使用できない。
- （2）4カ所（短パン＋膝の装具＋ふくらはぎの装具＋靴下）の使用は許可される。
しかし、それぞれが分かれていること。
- （3）アームスリーブはユニフォームの大部分を占めている色と同色であれば使用できる。
- （4）サイクリングパンツも短パンの大部分を占めている色と同色であれば使用できる。
- （5）ふくらはぎの装具は、靴下と同色であること。

※ その他、（公財）日本ハンドボール協会「服装や保護を目的とした装具に関する規定」に準ずる。

7 競技会場

競技会場は、すべて正規（40m×20m）のコートである。

あづま総合体育館A B

（2面）決勝はAコート

諸 注 意

- 1 メンバーチェックは大会パンフレットを使用するので、メンバー表の提出は必要としない。
- 4 トスは、第1試合は試合開始30分前に、第2試合以降は前試合のハーフタイム時にオフィシャル席前でおこなう。同時にユニホームの選定をおこなうので、代表者がCP・GKのユニフォーム（計4色以上）を持参し、両レフェリー・TOの許可を得る。
- 5 チームの構成は、監督1名・役員3名・選手15名以内とし、この19名がベンチに入ることができる。監督は出場校の校長・教員（非常勤は除く）・部活動指導員とする。役員は出場校の教職員2名と外部コーチ1名までとし、監督（チーム責任者）は役員表示「A」、その他の役員は役員表示「B」～「D」をつけなければならない。なお、監督（チーム責任者）だけがタイムキーパー・スコアラー・TO、必要であればレフェリーと話することができる。
- 6 試合開始前に、監督（チーム責任者）はメンバーを確認の上、公式記録用紙にサインすること。試合終了後にレフェリー・TOが公式記録用紙を確認してサインすることによって公式記録が成立する。
- 7 試合開始前と終了のあいさつについては、ベンチと平行に並んでおこなう。ベンチにいるチーム役員も起立してお互いにあいさつをすること。終了のあいさつ後は両チームの交流を行う。
- 8 控え選手はベンチの後方や横に立たず、ベンチに座っていること。試合に途中出場するためのアップにおいて、コーチングゾーン内であればベンチ裏を使用することができるが、ボールを使用することはできない。また、チームのボールはボールケースにしっかりしまい、コーチングゾーン内に置いておくこと。
- 9 退場者の再入場については、退場者タイマーを見ておこなうこと。再入場の判断は、チームの責任による。オフィシャル席から合図することはしない。
- 10 選手のハチマキは結び目より先を短くし、長い髪は危険のないように結ぶこと。金属・プラスチック製のピンは使用できない。また、プロミスリングは、はずすかテーピング等で覆うこと。
- 11 アイマスク・コルセット・プロテクター等を身につけたい場合は、試合当日までに競技委員長の確認を受ける。競技時のコルセットはユニホームの中に入れること。
- 12 体育館内は、必ず体育館シューズを使用すること。内外兼用は厳禁とする。

- 13 自チーム試合前の練習は、前試合ハーフタイム時に後半開始1分前まで競技会場を使用してもよい。ただし、第1試合の開始前の練習についてはこの限りではない。
- 14 試合中・ハーフタイム・チームタイムアウト時の給水は、コートの外でおこなうこと。水滴をフロアに落とした場合は各チームで拭きとること。
- 15 チームタイムアウトは、請求カードが妥当な状況でオフィシャル席に渡った時点で認める。なお、チームタイムアウト時には役員・選手は交代地域及びその前方にいないなければならない。チームタイムアウトの合図は、オフィシャル席のタイムキーパーのホイッスルまたはブザーでおこなう。
- 16 交代地域のチーム役員の服装については、原則襟付きシャツ・スラックスとし、上衣の色については、（公財）日本ハンドボール協会の規定にしたがう。相手チームのユニフォームと同色を避けること。また、試合中の言動は品位あるものとする。品性を疑われる言動や態度、生徒に対する体罰、暴力行為は罰則の対象とする。
- 17 チーム帯同のトレーナーは指定のトレーナー席に座る。交代地域に入っの治療行為は認めない。

試合観戦（応援）のマナーについて

選手が持っている最高のパフォーマンスを十分に発揮できるように、保護者をはじめ試合を観戦（応援）される方々につきましてもご協力いただけますように、チーム関係者の皆様にご連絡をお願いいたします。

- ・観戦席では密にならないように距離をとってご観戦くださいますようご協力願います。
- ・声を出しての応援や鳴り物はOKですが、ホイッスルの使用は禁止です。
- ・相手に対するファール時の拍手は行わないでください。（相手選手への罰則の判定時など）
- ・レフェリーの判定に対する誹謗・罵声は行わないでください。
- ・相手選手を誹謗したり侮辱したりする言動は行わないでください。
- ・観客席のイスや手すり等をメガホンまたはペットボトルなどでたたく行為は行わないでください。
- ・選手の健康・安全を最優先に考え、危険防止のためフラッシュ撮影につきましてはご遠慮ください

以上です。各チームの関係者の皆様へ周知徹底をよろしく申し上げます。